

## 【第 6 章①（持続可能な脱炭素社会に向けた取組の加速化）】

## 【 1-1 】

2050 年までに脱炭素社会を実現するため、京都府では以下の施策【 1 】から【 4 】を推進しています。これらについて、あなたの考えに最も近いものを 1 つずつ選び、チェックを入れてください。

施策		施策に対応した具体的取組
【 1 】 省エネの取組 等の加速化	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ	① 高効率な省エネ家電への買換え ② ネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB） ※ <sup>1</sup> やネット・ゼロ・エネルギー・ホーム （ZEH）※ <sup>2</sup> の普及 ※ <sup>1</sup> ：省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって 使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を 正味（ネット）ゼロにした建物 ※ <sup>2</sup> ：省エネによって使うエネルギーをへらし、創エネによって 使う分のエネルギーをつくることで、エネルギー消費量を 正味（ネット）ゼロにした住宅 ③ 企業の環境配慮型経営の促進 ④ 企業への技術面での助言や省エネ機器等への 設備投資等への支援 ⑤ 企業のサプライチェーン全体での温室効果ガ ス排出量削減に向けた取組 ⑥ 環境保全や生態系と調和した農林水産業 ⑦ 農林水産物や木材等の地産地消 ⑧ 自動車利用から公共交通や自転車、徒歩利用 への転換（モーダルシフト） ⑨ カーシェアなどの移動手段の共有（ムーブシ ェア） ⑩ エコドライブ（環境にやさしい運転）の取組 ⑪ 急速充電器等の充電インフラの整備 ⑫ 電気自動車等の次世代自動車の普及 ⑬ 再配達の削減 ⑭ AI※ <sup>3</sup> ・IoT※ <sup>4</sup> 等の技術活用による物流 システムの効率化 ※ <sup>3</sup> ：人工知能 ※ <sup>4</sup> ：住宅・建物、車、家電製品等の様々な物体（モノ）に通信 機能を持たせ、インターネットへの接続、相互通信によ り、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと
	<input type="checkbox"/> 変わらない	
	<input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている	
	<input type="checkbox"/> わからない	

		⑮ 新たな技術による環境にやさしい商品開発や販路開拓
		⑯ 公共施設等への再エネ・省エネ設備の導入など、府庁自らの温室効果ガス排出量削減に向けた取組
【2】 再生可能エネルギーの主力電源化に向けた取組	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	⑰ 建築物等への自家消費型の再エネ導入支援
		⑱ 風力・バイオマス・小水力等の多様な再エネの導入支援
		⑲ 先端技術の活用
		⑳ 再エネの電力・熱の利用促進
		㉑ 既存の再エネ電源設備が長期安定的に活用できるよう、保守点検や修繕等が長期にわたり適切に実施されるための産業基盤の確立等の推進
		㉒ 水素の安全性や利便性等に対する府民の正しい理解の醸成や水素需要の拡大
【3】 フロン対策の推進	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	㉓ フロン使用機器からの漏洩防止措置の徹底
		㉔ 機器廃棄時におけるフロン回収率の向上対策
		㉕ ノンフロン型機器の利用促進
【4】 森林によるCO <sub>2</sub> 吸収の促進	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	㉖ 森林施業に先端技術を活用することなどにより、適切に管理され、循環利用される森林を拡大
		㉗ 事業者や府民、NPO等が協働した取組による森林保全・整備や木材利用等の取組促進

### 【1-2】

調査1-1の具体的取組①～⑳のうち、脱炭素社会の実現に向けて、取組が改善した・進んだと感じるもの、取組が悪化した・遅れていると感じるもの、それぞれ3つずつ選び、それらを選んだ理由を記載ください。

- 取組が改善した・進んだ ( )
- 取組が悪化した・遅れている ( )
- 選んだ理由 (自由記述) ( )

### 【1-3】

調査1-1の具体的取組①～⑳のうち、脱炭素社会を実現するためにあなたが重要だと考える施策を3つ選んでください。

また、その他、重要と考える施策がある場合、以下に記載ください。

- 重要と考える施策 ( )
- その他重要と考える施策 (自由記述) ( )

**【第6章②（ゼロエミッションを目指した2R優先の循環型社会の促進）】**

**【2-1】**

廃棄物の発生抑制（Reduce）・再使用（Reuse）（以下「2R」という。）等によるゼロエミッションを目指した循環型社会実現に向け、京都府では以下の施策【1】から【6】を推進しています。これらについて、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選び、チェックを入れてください。

施策		施策に対応した具体的取組
【1】 産業廃棄物の2Rの推進	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	① 新しい技術の開発、実用化、普及促進による廃棄物の効率的な2Rの推進
		② 最新の廃棄物処理情報の集約化の強化
		③ 廃棄物対策のプラットフォーム構築
		④ シェアリング・エコノミー <sup>※5</sup> など、2R優先の循環型社会に資するビジネスの育成支援  <small>※5：自家用車や自宅など個人が所有する資産やリソースを共有することで収益を得るビジネスモデルのこと。フリマアプリ、民泊、ライドシェアなど。本来は廃棄されていた資源を再活用することで、循環型社会に資する。</small>
【2】 消費者の意識啓発	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	⑤ 「もったいない」の精神やエシカル消費 <sup>※6</sup> の理念を普及させ、環境価値の高い商品の優先購入等の取組を促進  <small>※6：人や社会、環境、地域などに配慮した消費行動。</small>
		⑥ 行政によるグリーン調達の推進等により、環境負荷の少ない物品やサービスの普及を促進
【3】 プラスチックごみの削減	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	⑦ レジ袋やペットボトル等の使い捨てプラスチックの削減を推進
		⑧ リユース容器の普及等のビジネスモデルの展開
		⑨ 代替プラスチック製品の開発・販売促進等に取り組む事業者への支援
		⑩ 大規模排出事業所に対する廃プラスチック類削減に向けた取組の推進
【4】 食品ロスの削減	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	⑪ 消費者の意識改革に向けた啓発
		⑫ 食品ロスに取り組む事業者への支援
		⑬ 生産、製造、販売、消費等の各段階における関係者の相互連携
【5】	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ	⑭ 農業分野から排出されるプラスチック類の資

循環型農業 の推進	<input type="checkbox"/> 変わらない	源循環を促進
	<input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている	⑮ 畜産センターにおける環境負荷低減技術の開発や技術指導
	<input type="checkbox"/> わからない	⑯ 家畜排せつ物処理施設等の整備
		⑰ 生産される堆肥の利用促進
【6】 流域一帯で 取り組む海 岸漂着物対 策	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ	⑱ 海岸漂着物等の回収・処理
	<input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	⑲ 流域一帯となった発生抑制の取組の促進

### 【2-2】

調査2-1の具体的取組①～⑲のうち、循環型社会を実現に向けて、取組が改善した・進んだと感じるもの、取組が悪化した・遅れていると感じるもの、それぞれ3つずつ選び、それらを選んだ理由を記載ください。

- 取組が改善した・進んだ ( )
- 取組が悪化した・遅れている ( )
- 選んだ理由（自由記述） ( )

### 【2-3】

調査2-1の具体的取組①～⑲のうち、循環型社会を実現するためにあなたが重要だと考える施策を3つ選んでください。

また、その他、重要と考える施策がある場合、以下に記載ください。

- 重要と考える施策 ( )
- その他重要と考える施策（自由記述） ( )

## 【第6章③（安心・安全な暮らしを支える生活環境の保全と向上）】

### 【3-1】

快適な環境を維持し、府民の安心・安全な暮らしを支えるため、京都府では以下の施策【1】から【7】を推進しています。これらについて、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選び、チェックを入れてください。

施策		施策に対応した具体的取組
【1】 適切な環境モ ニタリングの 実施	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ	① 大気や水質等の環境モニタリング結果の分かりやすく効果的な情報発信
	<input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	② モニタリング技術向上を見据えた調査研究や機器整備など新たなリスク発生に備えるための体制強化

<p>【2】 環境影響評価 制度の総合的 な取組の展開</p>	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	<p>③ 環境影響評価制度の総合的な取組の展開</p>
<p>【3】 環境リスクの 高い有害化学 物質等（ダイ オキシン類、 重金属等）に よる環境影響 の防止</p>	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	<p>④ 環境リスクの高い有害化学物質（ダイオキシン類、重金属等）の適正管理の推進</p>
<p>【4】 地域特性に応 じた気候変動 適応策の推進</p>	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	<p>⑤ 既に起こり始めている気温上昇や大雨頻度の増加等への対応など、京都府の地域特性に応じた気候変動適応策の推進</p>
		<p>⑥ 気候変動影響に係る情報収集、調査・研究による科学的知見の集積、各分野への活用</p>
		<p>⑦ 気候変動に適応するための製品やサービスを展開する適応ビジネスの育成</p>
<p>【5】 災害に強い分 散型エネルギ ー供給システ ムの実装</p>	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	<p>⑧ 停電時にも自立的な電力供給が可能となるよう、住宅等へ太陽光発電設備・蓄電池等の導入支援</p>
		<p>⑨ 地域の分散型エネルギーリソースの活用等による災害に強い地域づくりの推進</p>
		<p>⑩ 地域に密着した長期安定的な再生可能エネルギー事業の運営支援</p>
		<p>⑪ 地域における分散型エネルギーリソースとデジタル技術を融合したエネルギーマネジメントの高度化</p>
<p>【6】 平時から災害 時までの廃棄 物処理体制の 強化</p>	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	<p>⑫ 市町村の災害廃棄物処理計画の策定支援</p>
		<p>⑬ 近隣府県との連携・協力等による広域的・技術的な体制の確立</p>
<p>【7】 廃棄物の不法 投棄や土砂等 による不適正 な埋立の撲滅</p>	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	<p>⑭ 廃棄物の不法投棄等の監視指導體制の強化</p>
		<p>⑮ 関係府県とのネットワークの構築</p>

**【3-2】**

調査3-1の具体的取組①～⑮のうち、快適な環境を維持し、安心・安全な暮らしを支えるため、取組が改善した・進んだと感じるもの、取組が悪化した・遅れていると感じるもの、それぞれ3つずつ選び、それらを選んだ理由を記載ください。

- 取組が改善した・進んだ ( )
- 取組が悪化した・遅れている ( )
- 選んだ理由（自由記述） ( )

**【3-3】**

調査3-1の具体的取組①～⑮のうち、快適な環境を維持し、安心・安全な暮らしを支えるため、あなたが重要だと考える施策を3つ選んでください。

また、その他、重要と考える施策がある場合、以下に記載ください。

- 重要と考える施策 ( )
- その他重要と考える施策（自由記述） ( )

**【第6章④（自然と生活・文化が共生する地域社会の継承）】**

**【4-1】**

自然と生活・文化が共存共栄する持続可能な社会を将来に引き継ぐため、京都府では以下の施策

【1】から【5】を推進しています。これらについて、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選び、チェックを入れてください。

施策		施策に対応した具体的取組
【1】 森里川海のつながりの回復による多様な生態系の保全	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ	① 森里川海の生息・生育空間のつながりや配置の回復
	<input type="checkbox"/> 変わらない	② 森里川海における原生的な生息環境の保全
	<input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	③ 人間活動によって創出されたり、人が手を加えることで管理・維持されてきた二次的自然の維持管理
【2】 人の積極的な関与による里地・里山の再生	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ	④ 里山林や耕作放棄地の再生、自然体験・利活用、野生鳥獣の個体数管理等を通じた、里地域への積極的な関与
	<input type="checkbox"/> 変わらない	⑤ ICT技術を活用した効率的な有害鳥獣の捕獲や生息域把握等による野生鳥獣の適切な個体数管理
	<input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	⑥ 府民ぐるみで、地域の特色を生かしながら里山整備や木材利用を行うなど、人と森をつなぐ取組を推進
【3】	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ	⑦ 体験型の学習や観光、都市と農村との交流

豊かな農林水産資源の保全・利活用	<input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	を促進し、地域の魅力向上や活性化を推進
		⑧ 木材の地産地消の推進
		⑨ 閉鎖性水域の環境を保全するとともに、生物多様性・生物生産性が確保された「豊かな京都の里海」の実現
【4】 生物多様性を未来に受け継ぐための知見の集積	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	⑩ 府内の生物多様性について、継続的に収集された知見を基に生物多様性の効果的な保全と利活用、自然環境学習や普及啓発の推進
		⑪ 生物多様性を実感できるような環境学習の充実
		⑫ 社会の生物多様性の保全に対する気運の醸成
【5】 外来生物による生態系等への影響に対する早期対策	<input type="checkbox"/> 取組が改善した・進んだ <input type="checkbox"/> 変わらない <input type="checkbox"/> 取組が悪化した・遅れている <input type="checkbox"/> わからない	⑬ 積極的なモニタリングや防除により侵入等を防ぎ、在来の生態系への影響抑止等を図る

#### 【4-2】

調査4-1の具体的取組①～⑬のうち、自然と生活・文化が共存共栄する持続可能な社会を将来に引き継ぐため、取組が改善した・進んだと感じるもの、取組が悪化した・遅れていると感じるもの、それぞれ3つずつ選び、それらを選んだ理由を記載ください。

- 取組が改善した・進んだ ( )
- 取組が悪化した・遅れている ( )
- 選んだ理由（自由記述） ( )

#### 【4-3】

調査4-1の具体的取組①～⑬のうち、生態系と生活や文化が共存共栄する社会を持続可能なものとして将来に引き継ぐため、あなたが重要だと考える施策を3つ選んでください。

また、その他、重要と考える施策がある場合、以下に記載ください。

- 重要と考える施策 ( )
- その他重要と考える施策（自由記述） ( )